

「営農情報メール」配信中!

登録無料!!

作柄情報 病害虫対策 青果物概況 イベント案内 など

◆ご登録は、右記のQRコードまたはJA山武都市のホームページから! (スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。) ◎JA山武都市の組合員なら、どなたでも登録できます!!



秋冬ブロッコリー

グリーンプラザ 営農指導員 古谷 公一



昨年は、台風とその後の天候不順により、黒すす病、黒腐病が発生しました。秋冬ブロッコリー栽培には台風対策が必須であり、湿害対策がポイントとなります。明渠を設置し、排水性を向上させましょう。排水が悪い圃場では、畝を高くすることで湿害を軽減できます。



台風後の対策

まずは薬剤散布を行いましょう。圃場に入れるようになったら、病害発生予防にダコニール1000やスターナ水和剤、アミスター20フロアブルを散布してください。塩分を流すようにたっぷりの液量(10㎡当たり150~200ℓ)を散布します。根が傷んでいる場合が多いので、樹勢回復に液肥(メリット青)を3~4日間隔で葉面散布を行います。Zボルドーなどの銅剤は数日間隔で連続して散布します。出蕾後は花蕾に汚れが残る場合がありますので、出荷の際の圃場では注意が必要です。圃場の乾燥促進には、管理機による畝間走行や草なぎを使って株脇表土の溝切りが有効です。

以下、秋冬ブロッコリーの生育期間中に発生しやすい病害の症状と対策を解説します。

農業 テクニカルダイアリー

Agricultural-work technical diary



秋冬ニンジン

山武経済センター 営農指導員 小関 和彦



圃場準備

良質のニンジンを作る上では、完熟堆肥や緑肥の施用による土壌改良が必要です。3月上旬~4月下旬に播種したエン麦やチャガラシは、栽培期間60日を目安に早めにすき込んでください(写真①)。

JAでは、秋冬ニンジンの「ちばエゴ栽培」に取り組んでいます。ちばエゴ栽培は、①土づくりとして、完熟堆肥または緑肥を施用する、②化学肥料由来の窒素量を、成分で10㎡当たり7.5kg以下とする、③化学合成農薬の総使用回数を8成分使用回数以下(使用成分×回数)とする、という3点を満たすことで認証を受けることができます。



写真① チャガラシ(辛神)の栽培



薬剤消毒

コガネムシ類の幼虫やネキリムシの発生が増える傾向にあるので、フォース粒

剤(10㎡当たり4~12kg)やDC油剤(10㎡当たり20ℓ)で防除しましょう。例年、ヤケ、しみ、アザの発生しやすい圃場では、しみ腐れ病に高い効果を発揮するユニフォーム粒剤を10㎡当たり18kg全面土壌混和すると、品質向上が望めます。



肥培管理

生育ステージに合わせた肥培管理が重要です。

①発芽~本葉3葉期前後の初期生育期(播種~20日前後は、発芽の安定と生育のそろった根茎を確保するため、播種前後の圃場の水分確保(乾燥防止など)が重要です。

②本葉4~7葉期の根形成期(30~50日前後は、根部の肥大・充実に備える重要な時期で、水分と肥料が最も必要となります。

③本葉8葉期以降の肥大充実期(70~100日前後は、地上部(茎葉)が過繁茂にならないよう、肥培管理を行います) (根の肥大不足・根色の色落ちの原因となります)。



病害虫防除

近年、8月下旬から9月にかけて台風や雨が多く、黒葉枯病の発生要因となっています(写真②)。圃場の排水対策も必要ですが、表①を参考に適宜防除し

べと病

葉には、葉脈で区切られた多角形の黄褐色病斑が現れます。多湿のときは、葉裏に白っぽいカビが発生します。葉に発生したべと病は花蕾にまん延していきます。また、写真③のように茎を切ってみると、茶色くなっているのが特徴です。10月から出蕾期までに、予防散布を中心に防除を行います。



写真③ べと病 (茎を切断すると茶色)

黒すす病

花蕾に黒色の小斑点を生じた後、病斑が拡大して黒褐色に腐敗します。台風や風雨の後に発生しやすいので、アミスター20フロアブルを散布して予防しましょう。なお、パレード20フロアブルが登録拡大しました。

黒腐病

泥水の跳ね返りなどで感染します(写真④)。出蕾後は花蕾にも発病します。多発圃場では定植時にオリゼ

まし。なお、ファンタジスタ顆粒水和剤が黒葉枯病に登録拡大しました。



写真② ニンジンの黒葉枯病

表① ニンジン病害虫防除例

防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	使用回数
9月中下旬	黒葉枯病	ポリオキシンAL水和剤	500倍	7日前まで	5回以内
10月上旬	黒葉枯病	カスミンボルドー	1000倍	14日前まで	2回以内
		マメハモグリバエ	アフーム乳剤	前日まで	3回以内
10月中旬	黒葉枯病	ストロビーフロアブル	2000~3000倍	7日前まで	3回以内
		ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍	3日前まで	3回以内

※雨が多い場合、防除を増やしてください。



防除のポイント

黒腐病防除の薬剤は、黒すす病の防除には効果がありません(逆も同様)。両病害ともに花蕾発病後の治療は困難ですので、予防を中心としたクレーション散布が必要となります。



写真④ ブロッコリー黒腐病 (株全体)

メート粒剤を全面土壌混和し、降雨後に銅剤などの薬剤散布で予防します。

4月の分析経過について

合計1点	
残留農薬分析点数	多成分一斉分析
	春ブロッコリー 1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 合計21点